

【募集要項】 令和7年度「自分と地域を守る学校安全支援事業」
高校生防災リーダー養成研修（県外派遣研修）

1 主催

宮崎県教育委員会

2 事業目的

南海トラフ地震等の自然災害に対応できる次世代人財育成のための機会として、自分と地域を守る学校安全支援事業において、研究機関等へ生徒を派遣し、将来の地域防災を牽引することができる人材育成を目的とする。

3 対象、人数、研修地、日程、費用

対 象	ア 県立高等学校1、2年生 イ 県立五ヶ瀬中等教育学校4、5年生
人 数	10名程度
研修地	関西地区（兵庫県、京都府、大阪府）
日 程	令和8年1月20日（火曜）から22日（木曜）までの3日間
費 用	(1) 旅費（航空機代、宿泊費、現地移動費用）は、県教育委員会で負担 (2) 現地での食費、自宅から宮崎空港往復旅費が別途必要

4 研修内容（予定）

- (1) 兵庫県「人と防災未来センター」視察
- (2) 京都大学防災研究所の見学、講義（南海トラフ地震について、津波・震災への対策等）
- (3) 大阪府立高等学校への訪問（防災について先進的な取組を行っている学校等）

5 応募方法及び派遣者決定方法

(1) 参加条件

以下の①～⑧の条件を全て満たし、かつ、本人及び保護者が同意していること。

【条件】

- ① 県立高等学校1、2年生及び県立五ヶ瀬中等教育学校4、5年生である。
- ② 防災に対する興味・関心が高く、大学生や社会人になっても探究心をもって活動する意欲がある。
- ③ 学業に意欲的に取り組み、学校内外における生活態度が良好である。
- ④ 県外での研修に耐えうるの心身の状態であり、保護者の理解が得られている。
- ⑤ 事前オリエンテーション（オンライン1回程度）に参加し、資料作成等の準備を行う。
- ⑥ 事後研修会に参加して、各学校や県内の研修会等で報告発表を行うことができる。
- ⑦ 部活動の大会や練習等と重なっていても派遣事業を優先できる。
- ⑧ 以下の項目について、参加者費用負担が可能である。

ア 現地活動費（食費等） イ 空港までの移動費用

(2) 申込手順について

- 1 県庁HPから関係様式（様式1、2）をダウンロードする。
- 2 生徒本人が様式1を、保護者が様式2を記入し、県教育庁人権同和教育・生徒指導課担当（日置）へ直接メールで提出する。
メールアドレス：hioki-yohei@pref.miyazaki.lg.jp
※ 申請メ切り 令和7年11月25日（火）
- 3 生徒本人は、様式1、2を学校担当者へ提出する。
- 4 学校は、関係書類（様式3）を、県教育庁人権同和教育・生徒指導課に提出する。

(3) 参加者決定方法

参加者の選考は、以下の方法で行います。

- ① 一次選考（書類選考）
願書をもとに、書類選考を行います。
- ② 二次選考（面接選考）
書類選考で合格した者に対しては、本研修に対する意欲、学んだ成果をどのように生かすについて面接選考を行います。

(4) 面接選考日程

- ① 日時：令和7年12月6日（土）を予定しています。
予備日程 令和7年12月8日（月）
- ② 方法：Zoom オンライン
- ③ その他：一次選考後に日程調整を行います。

問い合わせ

宮崎県教育庁人権同和教育・生徒指導課

生徒指導・安全担当 日置 洋平

電話 0985-26-7239

Mail hioki-yohei@pref.miyazaki.lg.jp